

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
公民	現代社会	普通科・3 学年・文系選択	2
教科書	[主たる教材] 高校現代社会 新訂版 実教出版		
副教材等	[副教材] フォーラム現代社会 (とうほう) ニューコンパスノート現代社会 (とうほう)		

1 学習目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- ①知識・技能の習得に向けて
現代社会の基本的な問題について理解し、良識ある公民として行動することができるための知識の定着
- ②思考力、判断力、表現力の育成に向けて
現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断し、適切な方法で表現することのできる力の育成
- ③学びに向かう力の涵養に向けて
現代社会を生きるための、良識ある公民として必要な能力と態度の育成

3 学習計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 月 5 月	第 1 編 現代社会の諸課題 第 1 章 地球環境を考える 第 2 章 科学技術の発達と生命	・環境や生命に関わる諸問題を考察することを通して、社会のあり方を考察する。	5	定期テスト 授業の取り組み
5 月 6 月 7 月	第 2 編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第 1 章 青年期と自己形成 第 2 章 他者と共に生きる倫理 第 3 章 現代の国家と民主政治	・青年期が心理的、社会的な自立を遂げていく重要な時期であることを理解する。 ・民主政治の基本原則に基づきながら、社会参加の重要性について理解する。	20	定期テスト 授業の取り組み
8 月 9 月 10 月	第 4 章 日本国憲法と国民生活 第 5 章 国際政治の動向 第 6 章 現代の経済社会と政府の役割	・日本国憲法の基本的原則と政治機構、民主政治における世論形成と指示参加の意義について理解する。 ・民主社会に生きる人間としての在り方生き方について考察する。	24	定期テスト 授業の取り組み
11 月 12 月	第 7 章 経済活動のあり方と国民福祉 第 8 章 国際経済の動向	・市場経済の意義と機能やその限界、財政、租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動が国民福祉の向上とどのような関連があるのか考察する。	10	定期テスト 授業の取り組み
1 月	第 3 編 共に生きる社会をめざして	・今までの学習活動を踏まえ、現代社会における課題について探究し、理解を深める。	5	ワークシート

計 64 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物等

- ・各單元ごとにワークシートやディバートの時間を設定しています。
- ・夏季休業中の課題は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立つ多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none">・授業の取り組み（授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況など）・提出物などの内容・定期テスト などから総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

現代の社会を、政治・経済・国際社会・倫理・文化といった多様な角度から理解することで、自分との関わりを意識しながらこれからの生き方も考える、そんな時間にして欲しいと願っています。

(担当：氏 名)